

生分解性と洗浄力に優れ、環境負荷低減に貢献できる衣料用洗剤基剤を開発

—低温でゲル化せず、高濃度化可能なため、コンパクト洗剤に最適—

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、生分解性と洗浄力に優れ、洗剤成分の高濃度化が可能な衣料用洗剤基剤『ミセランド SCD-100』を開発しましたので、お知らせいたします。当社はこのような特長を有する『ミセランド SCD-100』を通じて、さらなる環境負荷低減を目指し、サステナブルな社会づくりに貢献してまいります。

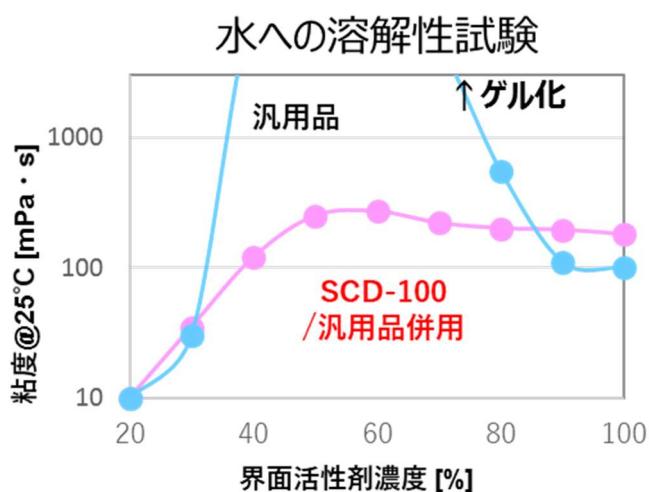
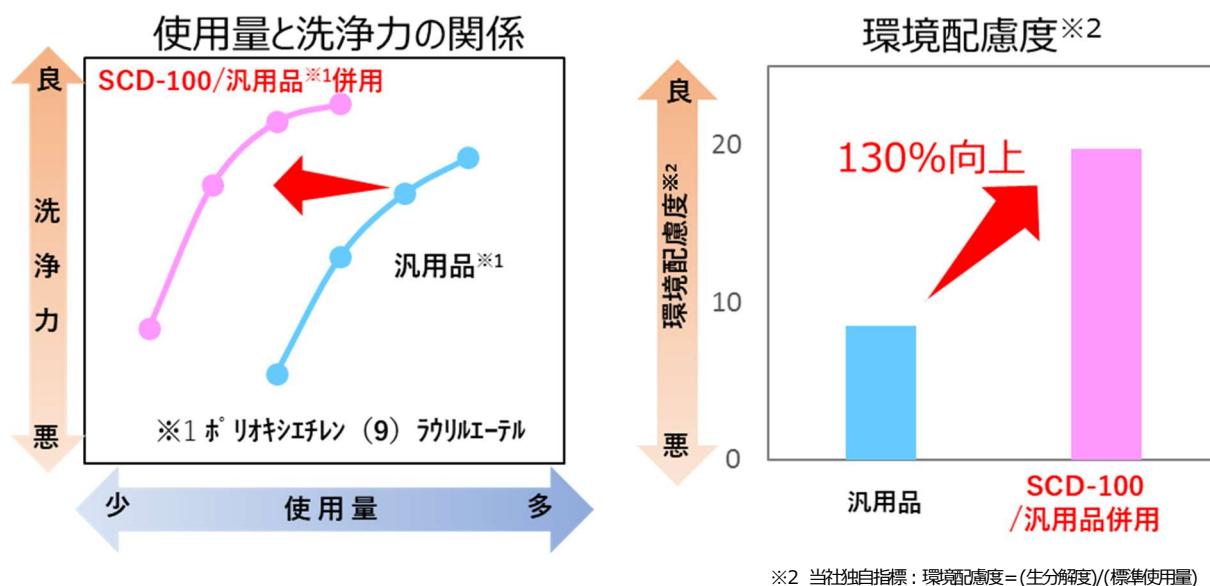
衣料用洗剤には、洗浄力などの基本性能に加えて環境負荷の低減が求められており、節水型の洗濯機でも溶け残りがなく使いやすい液体洗剤が主流となっています。中でもコンパクト液体洗剤は、容器の省資源や輸送エネルギーの削減につながるだけでなく、持ち運びやすさ・使いやすさが消費者に広く受け入れられ、近年需要が高まっています。そのコンパクト液体洗剤の普及を支える一つが洗剤基剤である界面活性剤の高機能化です。それまでの界面活性剤では、容器のコンパクト化に対応すべく洗剤成分を高濃度に配合すると、ゲル化してしまっていたため、高濃度でもゲル化しない界面活性剤が必要でした。また1回の洗濯に使用する洗剤量を低減できるよう、洗浄力の高いことなどが求められ、これらのニーズを満たす界面活性剤が開発されました。しかし、洗浄力の高い界面活性剤は、生分解性が悪い傾向があり、また、生分解性に優れる界面活性剤は結晶性が高いものが多く、高濃度化するとゲル化してしまうためコンパクト液体洗剤には使用できないといった課題がありました。

当社は、世の中の安全、環境への関心の高まりから、コンパクト液体洗剤においてもさらなる環境負荷低減に対するニーズが高まると考え、コンパクト液体洗剤に「生分解性」という付加価値を付与する洗剤基剤『ミセランド SCD-100』を開発しました。

『ミセランド SCD-100』は、当社がこれまで培った独自の界面制御技術により、従来のコンパクト液体洗剤では困難だった「生分解性」と「洗浄力」の両立を実現したものです。中性タイプの非イオン界面活性剤で、衣類へのダメージが少なく、皮脂汚れに対して優れた洗浄力を発揮します。従来のコンパクト液体洗剤に比べ、これまでと同等の洗浄力を維持しながら使用量を低減することができるため、環境への排出量を削減することができます。これまでと同じ使用量で洗浄力を向上することもできるため、お客様のニーズに合わせて濃度を調整いただくことが可能です。また、水溶性が高く、高濃度に濃縮しても流動性に優れているため、コンパクト液体洗剤に適しています。さらに、生分解性に優れるため、下水処理の処理効率を上げ、それにかかるエネルギーを削減にもつながり、環境負荷の低減に貢献できます。

【今後の予定】

今後、環境負荷低減に貢献できる洗剤基剤のニーズはますます拡大していくと考えられます。当社でも、バイオマス原料への置き換えなど、洗剤の原料、製造、流通、消費、廃棄に至るライフサイクル・アセスメント(Life Cycle Assessment)の観点も視野に入れ、高性能かつ環境負荷低減に貢献できる製品の開発を進めてまいります。



なお、本資料中の「SCD-100/汎用品併用」の比率は、全て重量比で「1/1」です。

※三洋化成の製品をより理解いただくための新サイトをOPENしました。

『樹脂・機能化学品紹介サイト』 <https://solutions.sanyo-chemical.co.jp/>



<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>